

人、音楽、自然—日本フィルのテーマです。

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
— 創立指揮者 渡邊暁雄 —

第757回 東京定期演奏会

日本フィルハーモニー交響楽団

カーチュン・ウォンによるアジア圏特集。 今回のメインテーマは 「ガムラン」。

指揮：
カーチュン・ウォン
[首席指揮者]

Conductor: Kahchun WONG, Chief Conductor

©Angie Kremer



©Carolien Sikkenk

ピアノ：
見玉桃*

Piano:
KODAMA Momo

ピアノ：
見玉麻里*

Piano:
KODAMA Mari

チナリー・ウン：

グランド・スパイラル

コリン・マクフィー：

タブー・タブーアン*

プーランク：

2台のピアノのための協奏曲 二短調*

ドビュッシー：

交響詩《海》

Chinary UNG: Grand Spiral

Colin McPHEE: Tabuh-Tabuhan

Francis POULENC: Concerto for two Pianos and Orchestra in D-minor

Claude DEBUSSY: La Mer, trois esquisses symphoniques pour orchestre

サントリーホール

7:00p.m., Friday, 26th & 2:00p.m., Saturday,
27th January, 2024, at Suntory Hall

2024年

1月26日

19:00 開演
(18:20 開場)

18:30~
「本日の聴きどころ(プレトーク)」

1月27日

14:00 開演
(13:10 開場)

13:20~
「本日の聴きどころ(プレトーク)」

■ 料金 (消費税込み) 好評発売中!

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500

※Ys席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。

※未就学児の入場はご遠慮下さい。

※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

※障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。

*車いすでご来場予定のお客様は、当日のスムーズなご案内のため、チケットご購入後ご購入席番を日本フィル・サービスセンターまでご連絡ください。

■ 託児サービス(事前申し込み制・有料。締切は公演の1週間前)

イベント託児@マザース [TEL] 0120-788-222

(平日10:00~17:00)

■ お申込み・お問い合わせ / 日本フィル・サービスセンター

[TEL] 03-5378-5911 (平日10:00~17:00)

eチケット♪[席を選んでお申込みできます] <https://eticket.japanphil.or.jp>

▶ チケットぴあ … <http://pia.jp/t/japanphil> Pコード:246-946

▶ e+【イープラス】 … <http://eplus.jp/>

▶ ローソンチケット … <http://l-tike.com> Lコード:35086

▶ サントリーホールチケットセンター … 0570-55-0017

主催 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

助成:公益財団法人アフィニス文化財団



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(創造団体支援))
独立行政法人日本芸術文化振興会

後援:シンガポール共和国大使館

協賛 鹿島建設株式会社 三井不動産株式会社

プレトークは
山野雄大氏

金曜日 18:30 ~ | 土曜日 13:20 ~

ご自身のお席で
お聞きください

今シーズンより
金曜日!!

日本フィルの東京定期演奏会
ライブ・アーカイブ配信は
Member's TVU Channel
で行っています。1,000円

<https://members.tvuch.com/>



カーチュン・ウォンによるアジア圏特集。

今回のメインテーマは「ガムラン」。

シンガポール出身の指揮者と日本のオーケストラだからこそ持ちえるアジアへの眼差し。今後もこの独自のスタンスに基づいて両者は唯一無二のプログラムをお届けします。カンボジアに生まれ、今はアメリカに居を構えるチナリー・ウンは、「スパイラル」という連作を描き続けており今回の「グランド・スパイラル」も緻密なオーケストレーションに基づいたスペクタクル性溢れる作品です。コリン・マクフィーは1900年に生まれたカナダの作曲家。バリ島に移り住み、後に現代音楽世界に大きな影響を与えることとなったガムラン音楽の魅力発信に大きく貢献した人物です。次に演奏するプーランク作品と合わせて、まさにガムランからの影響そのものを音化したとも言える作品です。児玉麻里・桃姉妹による演奏と共に楽しんでください。そして最後はアジアへの憧憬を包み隠さず、初版楽譜の表紙に葛飾北斎の浮世絵を採用したドビュッシーの交響詩《海》をとりあげます。



カーチュン・ウォン [首席指揮者] Kahchun WONG, Chief Conductor

今秋より日本フィルハーモニー交響楽団首席指揮者およびドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者に、24年9月より英国マンチェスターに本拠を置くハレ管弦楽団首席指揮者兼アーティスティック・アドバイザーへの就任が決定しているシンガポール出身のカーチュン・ウォンは2016年グスタフ・マーラー国際指揮者コンクールで優勝、その名を世界に知られることとなる。

2022年8月までニュルンベルク交響楽団首席指揮者を務め、これまでに、ニューヨーク・フィルハーモニック、ロサンゼルス・フィルハーモニック、クリーヴランド管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団を含む国内外の主要楽団との共演も果たす。

2019年、33歳という若さでシンガポールとドイツの文化交流並びにドイツ音楽文化の海外普及における献身的な取り組みと顕著な功績により、シンガポール出身の芸術家として初めてドイツ連邦大統領より功労勲章を与えられた。2021年12月の日本フィルハーモニー交響楽団定期公演で演奏されたマーラー交響曲第5番のライブ録音CDが日本コロムビアよりリリースされている。



児玉 麻里 [ピアノ] KODAMA Mari

大阪生まれ。6歳で渡欧。14歳の時、最年少、最優秀でパリ国立高等音楽院に入学。ピアノをタチアナ・ニコラエワ、アルフレッド・ブレンデルなどに学ぶ。17歳でブルミエ・プリを獲得して卒業。同年、同音楽院のマスター・コースに進み、19歳で修了。この間、数多くのコンクール優勝、上位入賞を果たす。同音楽院を修了後、ロンドン、ニューヨークなど欧米の主要都市で次々とデビューを果たす。現在、ヨーロッパ、アメリカ、日本、アジアで演奏活動を展開する数少ない国際的なピアニストとして名声を確立している。また、ベルリン・フィル、ロンドン・フィル、モントリオール管や、日本各地のオーケストラ等と共演。

CD録音も活発で、『ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ全集』、ケント・ナガノ指揮による『ベートーヴェン:ピアノ協奏曲全集(第0~5番)』を完成させている。また、サンフランシスコの室内楽フェスティバル「フォレストヒルミュージカルデイズ」とイタリアの「tralucesogno」の創設者でもある。



児玉 桃 [ピアノ] KODAMA Momo

J.S.バッハからメシアンを含む現代作品まで、幅広いレパートリーと豊かな表現力で活躍を続ける国際派。幼少の頃よりヨーロッパで育ち、パリ国立高等音楽院に学ぶ。1991年、ミュンヘン国際コンクールに最年少で最高位に輝く。

その後、ケント・ナガノ指揮ベルリン・フィル、小澤征爾指揮ボストン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、北ドイツ放送交響楽団との共演、デュワ指揮NHK交響楽団とのアジアツアーのソリストを務めるなど着実に

世界的なキャリアを築く。2013年にはルツェルン音楽祭、ウイグモアホール、東京オペラシティ文化財団の共同委嘱による「細川俊夫:練習曲集」をルツェルン音楽祭にて世界初演、12月には東京オペラシティにて日本初演、翌年ロンドン・ウイグモアホールでも演奏。CD録音も活発に行い、オクタビア・レコード、ECMより数多くリリースしている。2009年中島健蔵音楽賞および芸術選奨文部科学大臣新人賞、2023年芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。カールスルーエ音楽大学(ドイツ)教授。パリ在住。

次回 第758回東京定期演奏会 サントリーホール

2024

3.22 (金) / 3.23 (土)

19:00開演 / 14:00開演

■料金(消費税込み) 2023年12月14日(木)発売

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売
P ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500

■プログラム

指揮:アレクサンダー・リープライヒ

ヴァイオリン:辻彩奈

三善晃:魁響の譜

シマノフスキ:ヴァイオリン協奏曲第1番 op.35

シューマン:交響曲第3番《ライン》変ホ長調 op.97



指揮:
アレクサンダー・リー
プライヒ



ヴァイオリン:
辻彩奈

感染予防の
ご案内

